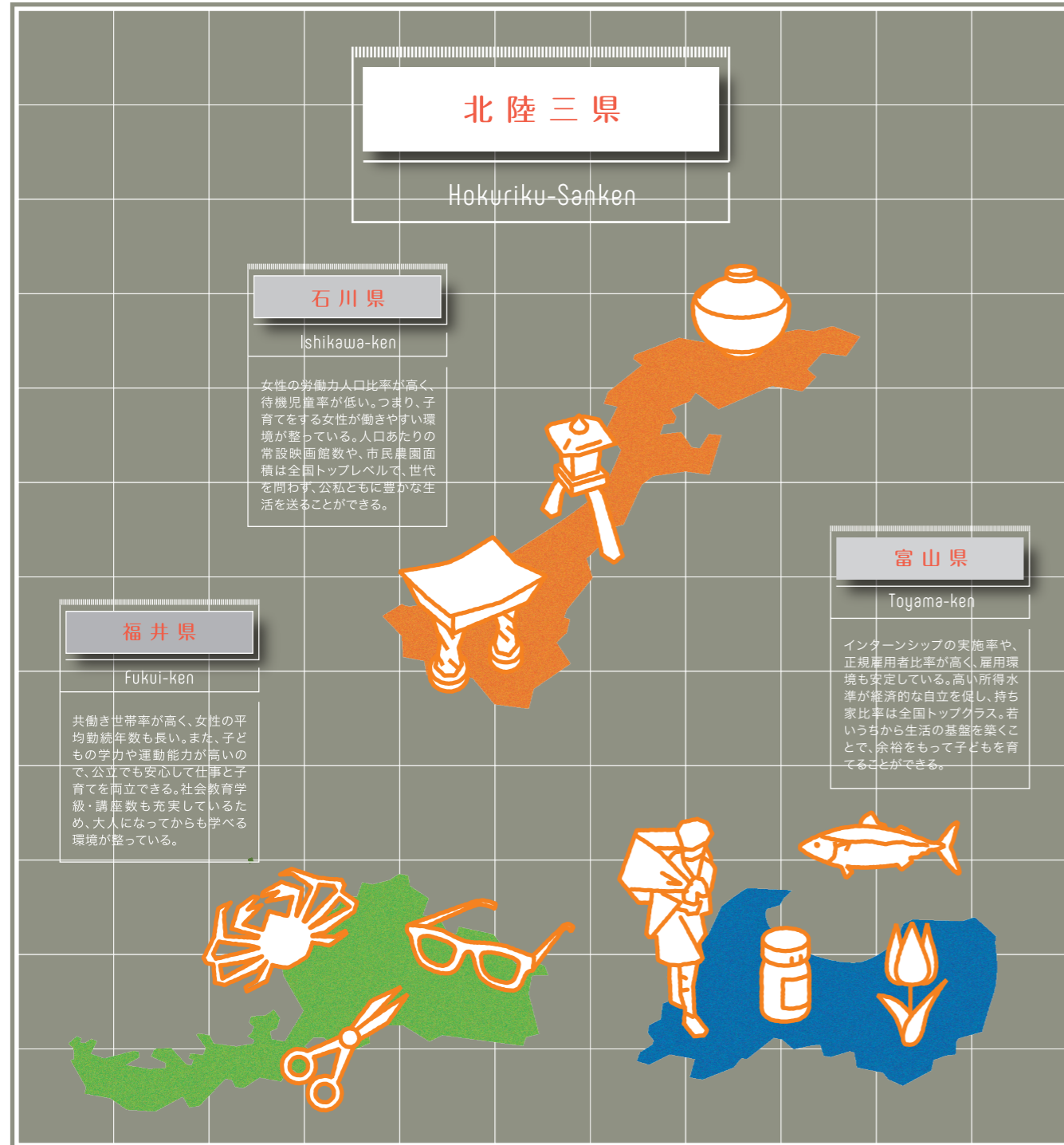


## REASONS TO RECOMMEND HOKURIKU

# 働きやすい、住みやすい北陸に移住しませんか？

家庭をもち、子供を育てる。そんなタイミングに検討すべきは、地方への移住という選択肢。  
中でも北陸三県は整備された交通網、安定した経済基盤に加え、充実した子育て環境によっても注目を集めている。

photograph & text by Hiroya Ishikawa | illustration by Kenji Oguro



## 仕事と家庭を両立できる環境

近年、目覚ましい発展を遂げているのが、富山、石川、福井の北陸三県だ。北陸新幹線の長野・金沢間の開通により、首都圏へのアクセスは格段に向上。2023年春に金沢・敦賀間が開通すれば、首都圏、関西圏、中部圏の三大都市圏との往来がさらに便利になる。豊かな自然環境もあり、働くだけでなく、子どもを育てるにも申し分ないと言える。ますます暮らしやすくなる北陸。その魅力について、北陸経済連合会のみなさんに語ってもらった。

まず注目したいのが、良好な雇用情勢を背景に、子育てしながらも働ける環境が整っていること。北陸三県には昔から夫婦共働きが多いのだ。

「製造業が盛んなこの地域には、世界的に有名な企業が数多く存在します。高校卒業者の県内への就職率は9割に及ぶほど仕事に恵まれ、移住してきた方でも経済的な基盤を築きやすいんです」

正規雇用者比率が高く、安定した収入が得られるためか、持ち家比率全国2位の富山県を筆頭に、家を購入する人が多く、広い家で子どもをのびのび



左から／北陸経済連合会 部長の狩野慎久さん、副部長の高田香里さん、同じく副部長の鳥山倫彦さん。北陸経済連合会では、北陸地域のさらなる発展のための活動を行っている。



「北陸に住もう～移住・Uターンガイド～」事務局  
北陸経済連合会  
北陸イメージアップ推進会議  
〒920-0981 金沢市片町2-2-15  
北国ビルディング4F  
☎076-232-0472  
<http://www.hokkeiren.gr.jp>

と育てやすいのも大きな魅力となっている。

「通勤時間が短く、首都圏のように、満員電車での通勤によるストレスなどもほとんどありません。子育てをしながら働きたい夫婦にとっては、待機児童の数が3県ともにほぼゼロというのも心強い。基本的に保育所が近くにあるので、出勤前に子どもを預けて、帰宅時に迎えに行くことも無理なくできると思います」

また教育環境についても、北陸三県ともに公立学校のレベルが高く、全国学力テストで上位を占めるほど。そこから輩出される優秀な人材が、地域経済の発展を支えている。また最近では、以前にも増して女性の活躍が目立ってきた。

「これまでは女性の就業率は高くても、管理職の比率は低かった。でも最近では、女性で起業される方や役職に就かれる方が増えてきています。働く環境はもともとあるので、家庭を優先しながら、仕事でも目標をもって挑戦したい女性にとっては理想的だと思います。男性の方にも、それを応援しようという雰囲気があるのもいいですね」

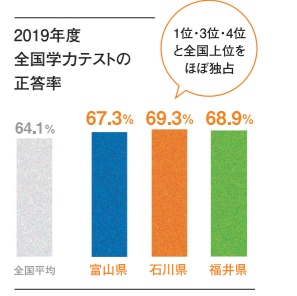
### 1 少ない待機児童

北陸地方では夫婦共働きが多く、「全47都道府県幸福度ランキング2018年版」によれば、女性の労働力人口比率は福井県の1位を筆頭に、石川県が3位、富山県が8位。女性の平均勤続年数も長く、3県ともに全国上位にある。女性の育児と仕事の両立をサポートする体制も整っており、厚生労働省の「保育所等関連状況取りまとめ(平成31年)」では北陸三県の待機児童数はほぼゼロ。産休後の仕事復帰のプランも立てやすい。



### 2 高い平均学力

文部科学省の2019年度「全国学力・学習状況調査」によれば、公立校の小学6年生と中学3年生を対象の全国学力テストで、小・中学生ともに北陸三県が上位をほぼ独占。総務省統計局による「統計でみる都道府県のすがた2019」では、幼稚園における教育レベルの指標となる教員1人あたりの在園者数は、福井県が全国最少の47位で、富山県が38位、石川県は36位。幼少期からきめ細やかな教育環境が整っている。



### 3 高等教育も多数

北陸三県には大学も多い。その数は石川県が12、富山県が5、福井県が6。総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2019」によれば、石川県は人口10万人あたりの大学数が1.05で全国2位となっている。分野も多様で、例えば金沢大学の人間社会学域地域創造学類では地域づくりのリーダーを育成。富山大学薬学部では薬のスペシャリストの育成を目指す。また、金沢美術工芸大学工芸科では工芸の担い手を育てるなど幅も広い。



### 4 医療機関も充実

北陸三県は、県庁所在地を中心に医療機関が充実。「統計でみる都道府県のすがた2019」によれば、人口10万人あたりの一般病院数は、富山県が8.2、福井県が7.4、石川県が7.1といずれも全国平均の5.8を上回る。平均寿命も全国平均以上で、特に福井県は男性が81.27歳で6位、女性が87.54歳で5位の長寿県となっている。子育て層には、各市町村で乳幼児医療費控除や子ども医療費助成の制度があるのも安心だ。

